

ほのぼのだより

2月の手話は「やぎさんゆうびん」です。

まど みちお 作詞 團井 玖磨 作曲

「そうさん」「一年生になったら」などの作詞もしている、まど みちおさんの作詞曲です。
この歌詞は、まどさんがまだ少年だったころ、幼い時に黒ヤギと生活をしていたことを思い浮かべ、コミカルな詩にしたもので、戦後になり曲がつけられたそうです。
小さなクラスのお友達も覚えやすい簡単な詞と、手話も「黒」「ヤギ」など分かりやすいものが多いので、ぜひお家でもお子さまと一緒に挑戦してみてください。

1番

① しろ



歯を見せるように軽く開いた口元で、右手のひとさし指で前歯を指さし、左へ動かす。

③ やぎさん



あごに手を当て、握りながら下におろす(「ヤギ」の手話)。*ヤギのひげを表しています。

② から



右斜め上を指さす。
*「～から」という手話はほかにありますが、ここでは手紙の送り手である白ヤギさんを指さしています。

⑩ おてがみついた



右手のひとさし指と中指を出し、その下に左手のひとさし指を当てて、「ㇿ」マークを作り(「手紙」の手話)、右斜め前方から胸元に動かす。



⑥ くろ



右手指先で髪の毛をさわる。
*手話では髪の毛が黒いようすを指して「黒い」という意味を表します。

⑤ やぎさんたら



*慣れてきたら、「たら」のところで、黒ヤギさんをイメージして左斜め上を指してみよう。

あごに手を当て、握りながら下におろす(「ヤギ」の手話)。*ヤギのひげを表しています。

④ よまずに



手のひらを自分に向けて左手を出し、右手のひとさし指と中指で字面を追うように縦に動かす(「読む」の表現)。そして、両手のひらを相手に向けて出してから、左右同時に手首を返して自分の方に向ける(「ない」の表現)。



⑫ たべた



胸の前で紙を持つように広げた手を口元にもってくる。

⑪ しかたがないので



手のひらを上にに向けた右手の小指側を左肩に当て、体につけたまま右下におろす。
*自分の体を切るようすを表しています。

⑨ おてがみ



右手のひとさし指と中指を出し、その下に左手のひとさし指を当てて、「ㇿ」マークを作る。

⑧ かいた



手のひらを自分に向けて左手を出し(短冊に見立てています)、そこに字を書くように、ペンを持った形の右手を縦に動かす。

⑦ さっきの



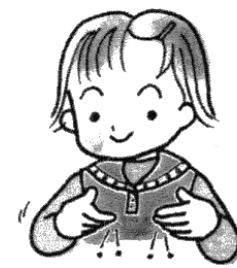
手のひらを後ろに向け5指を伸ばした右手を顔の横から後ろに動かす。
*自分の体より後ろが過去を表します。

⑬ てがみの



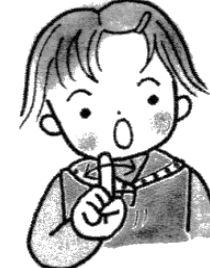
右手のひとさし指と中指を出し、その下に左手の人さし指を当てて、「ㇿ」マークを作る。

⑮ ごようじ



両手の指先をそろえて2回トントンと胸に当てる。

⑬ なあに?



尋ねる表情で右手のひとさし指を立て、軽く左右に振る。

2番 ♪「くろやぎさんから～」(全て同じ手話)

チャイルド社 「園行事に使える手話ソング」 参照